

オアシススケッチ

全国大会での健闘を誓う



阿久比高校新体操部の選手たち



左から本村君、町長、竹内君、伊藤君、服部君

全国大会への出場報告のため選手たちが町長室を訪れ、それぞれ大会での活躍を誓いました。

全国高等学校総合体育大会（7月31日～8月1日に青森県で開催）に出場の阿久比高校新体操部。出場は昭和62年から連続25年、27回目です。

第42回日本少年野球選手権大会（8月2日～8月5日に大阪府で開催）に出場の「愛知知多ボーイズ」に所属する阿久比中学校3年の竹内嶺君、伊藤伸悟君、「東海チャレンジャーボーイズ」に所属する阿久比中学校3年の服部真尚君、東部小学校4年の本村開征君の4人は、緊張しながらも闘志を内に秘めている様子でした。

第26回とびうお杯全国少年少女水泳競技大会（8月6日・7日に浜松市で開催）に出場の南部小学校6年の木村莉緒さん、英比小学校6年の伊藤千尋さんは「目標は3位以内」「自己ベストを更新」と元気いっぱいに語っていました。



木村さん（左）と伊藤さん（右）

●シンガポールで国際交流



旅立ちを前に元気いっぱい笑顔の子どもたち

小学生海外派遣事業（7月26日～31日シンガポール）出発のあいさつに、小学6年生の派遣児童15人と引率教員3人が7月22日に町長室を訪れました。

15人の児童は町長に元気よく「行ってきます」。町長は「けがのないよう気をつけて」と激励しました。

小学生の国際理解・国際交流を目的とする事業で、町内4校から62人の応募があり、作文や面接で15人が選ばれました。

●赤十字奉仕団による炊き出し訓練



出来上がったカレーを盛る団員

阿久比町赤十字奉仕団が中央公民館本館で7月21日、災害時に備えた炊き出し訓練と健康生活支援講習会を行いました。

参加者は各地区の奉仕団員54人。炊き出し訓練では、「ハイゼックス」と呼ばれる特殊なポリエチレン袋を使用し、釜で炊き上げた「ご飯」にカレーをかけて、皆さんで出来を確認。

講習会では、日本赤十字社愛知県支部職員を講師に迎え、災害時における高齢者に対する支援方法について学びました。